



しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校
学校だより NO.16
(通巻175号)
平成30年(2018)
11月16日(金)

『みんなで考えよう 性教育⑦』

校長 飯野 博史

一日一日寒さが加わってきました。北海道からは早くも雪の便りが届くようになりました。後期中間考査も無事終了し、ほっと一息といったところでしょうか。来週から答案を返却しますが、見直しをしっかりとするように指導していきます。ご家庭でもご確認ください。

さて、何度もお知らせしておりますが、八中では今年度研修テーマの一つとして「性教育」に取り組んでいます。10月5日(金)にはPTA主催による家庭教育講座を開催し、講師の先生から「思春期の子どもたちの特徴や育て方」についてお話をうかがいました。当日の様子については、PTA教養部から報告書を配布しました。

生徒たちは保健体育の授業で1年生は「受精と妊娠」、3年生は「性感染症の予防」について学習しました。今回は学習後の3年生の感想と家庭教育講座報告書に掲載できなかった保護者の方の感想を裏面に紹介します。

◎「性感染症の予防」授業後の感想

- ・今までこのような性感染症について深く学んだことはありませんでした。ただ危険で、なったら大変だというくらいしか知りませんでした。しかし今回の授業で、エイズなどの感染症の恐ろしさを学び、軽い気持ちではなく、真剣に考えて行動しなければいけないと分かりました。(男子)
- ・エイズという言葉は何度か耳にしたことがあったが、具体的にどのようなことが起こるのか、何が原因なのかは知りませんでした。今回の授業で、エイズ以外にも性感染症があることを知り、様々な恐ろしい症状があることが分かりました。自分はまだこの先何があるか分からないが、そのような行為をすることになった場合、最低限度のエチケットをすることが大切だと思い、気を付けたいと思いました。(男子)
- ・今回の授業を受けるまで私はエイズについて詳しく知りませんでした。性感染症についても知らず、今回の授業は最初分からないことだらけでしたが、少しずつ理解することができました。感染経路や予防などについて理解できてよかったです。まずは病気や感染症について知ることが大切だと思うので、将来困らないためにも性感染症についても正しく理解していきたいです。(女子)
- ・日常生活では感染しないものなのに、昔はエイズ患者が不当な扱いを受け、隔離されていることを思い出した。正しい理解がないから、感染する人も増え、その人たちを差別してしまう人が出てきてしまうのだと思う。皆が正しく理解をして、お互いを思いやりながら生活できるとよいのに、と思った。
- ・今日の授業をするまでは、こんなにも性感染症の人がいるとは思ってもいなかった。グラフなどを見ても、年々増加していることが分かる。感染症にならないために、予防をしていくことが大切だと思った。もっと多くの人が性感染症について知ることが大切だと思う。

※11月26日(月) 1学年「命の授業」、2学年「性と人権の授業」実施します。

◎生徒の活躍

・平成30年度 東京都英語学芸大会目黒区代表選考会

11月7日（水）めぐろパーシモンホール小ホールで開催されました。

八中から〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんの3人が出場しました。

3人とも日頃の学習成果を発揮し、のびのびとスピーチをしました。審査の結果、〇〇〇〇さんが最優秀賞を獲得し、12月の都大会に出場することになりました。

・平成30年度 目黒区いじめ防止啓発ポスター

入選 〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん

・平成30年度 目黒区中学校バスケットボール新人大会

第57回目黒区体育祭秋季バスケットボール大会 11/3

2位 男子、女子

・第57回目黒区体育祭目黒区中学校軟式野球大会 11/4

3位 第八中・第十中合同チーム

◎PTA家庭教育講座「思春期と向き合う」 10/5実施

「思春期と向き合う～子ども・生徒との関係のつくり方、育て方を考える～」と題して村瀬幸浩先生からお話をうかがいました。

アンケート集約結果から、いくつか拾ってみました。

2 テーマは興味あるものでしたか？

- | | |
|--------------|-------------|
| ①非常に興味深い 29人 | ②やや興味深い 11人 |
| ③あまり興味ない 0人 | ④興味ない 0人 |

※ 思春期の子どもをどう育てるか、関心の高さがうかがえました。とくに「性」にかかわる指導について家庭でも扱いにくく、どう指導したらよいか興味深かったです。

4 今後の家庭での教育に役立つと思いますか？

- | | |
|--------------|-----------|
| ①非常に役立つ 33人 | ②少し役立つ 7人 |
| ③あまり役立たない 0人 | ④役立たない 0人 |

※ 家庭で「性」をどう指導したらよいか、理解が深まったようです。学校、家庭が連携して「性教育」を推進していくことの大切さを感じました。

《保護者の感想》

- ・性を理解することは自分自身を大切にし、そして相手を思いやる気持ちにもつながると気付かされました。性について子どもと話すことはかなり抵抗がありましたが、今回先生からうかがったようなことからアプローチすれば、話しやすくなると感じました。
- ・性教育が子どもの自立につながる、とても大切なデリケートなものと再認識しました。
- ・子どもが興味をもち始める年頃なので、どのように接していけばよいのかアドバイスをいただけてとても良かったです。思春期の特性を理解し、心広く接していきたいと思いました。
- ・私の娘も日々、思春期の不安、いらだちでとても扱いづらさを感じていました。今日の講演を聞き、心が安定せず、ちゃんとすることがしにくい時期、大目に見て時間をかけてみるのが大切、子どもにとって居心地のよい家庭が大切というお話が聞けてよかったと思います。性に関しての話を家庭でなかなかする機会はなかったが、今日聞いた話をもとに話ができるきっかけをつくっていききたい。

◎教育アンケート回収のお礼

教育アンケートの提出ありがとうございました。90%以上の回収率でした。集計・分析し、来年度の教育活動にいかしてまいります。